

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第1号
2025年5月27日発行

春季研修会及び総会のご報告

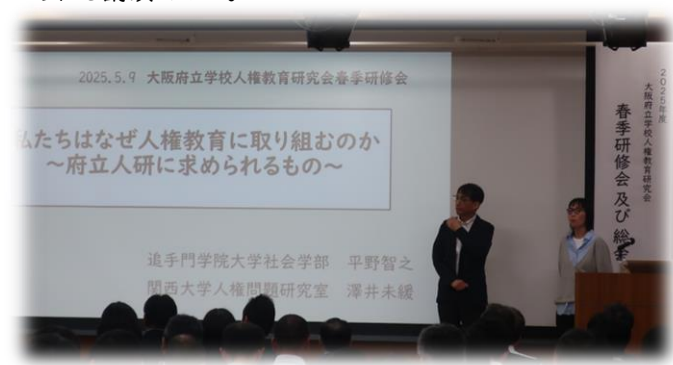
こんにちは、府立人研事務局です。万緑の季節、みなさんいかがお過ごしでしょうか？「府立人研通信」第1号では、春季研修会及び総会のご報告をさせていただきます。多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。またのお越しをお待ちしております。

春季研修会及び総会 私たちはなぜ人権教育に取り組むのか ～府立人研に求められるもの～

5月9日（金）2025年度春季研修会および総会を府立大阪ビジネスフロンティア高等学校にて開催しました。昨年度の活動報告、会計報告を行い、また2025年度の新役員案や予算案が審議され、議案はすべて承認されました。

春季研修会では、平野智之さん（追手門学院大学教授）、澤井未緩さん（関西大学非常勤研究員）より「私たちはなぜ人権教育に取り組むのか～府立人研に求められるもの～」というテーマでご講演いただきました。前半、平野さんは、同和教育のはじまりである「差別の現実から深く学ぶ」という人権教育の原点の重要性と、未来を保障する教育を確立するために府高同研が結成され、現在の取り組みへとつながっていく府立人研のあゆみについてお話されました。子どもや地域への責任を果たしてきた歴史、インクルーシブな学校をめざすことが人権教育の広がりとなること、また、参加型・総合的な学びの成果から人権を“自分ごと”と捉えるためには、対話による関係性づくりが重要であることを学びました。後半、澤井さんは、マイノリティとして生きるご自身の視点から、人権教育の面白いところは、人によって“違う”こと、失敗から新しい自分がつくられること、自分は何があっても自分だということの3つを挙げました。また、「『行き過ぎた多様性』という言葉に学校現場は、どのように対抗できるか」という問いを示し、「受容」や「共生」の捉え方についても深

く考えさせられました。お2人の話は学校教育の根幹のお話であり、対話の重要性や生徒が主役であることを再認識させられる講演でした。



直近の主な活動予定

6月13日（金）14:00～第1回 研究部会

- ・教材部会 @府立柴島高等学校
『「集団づくり」を考えよう
なぜ集団づくりに取り組むのか？ - 基礎編 -』
- ・進路保障部会 @大阪私学会館
『日々防災① ～ささやかな繋がりの中で～』

6月20日（金）14:00～

- 防災と人権OS @大阪私学会館
『日々防災② ～誰ひとり取り残さないそのために～』

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106 府立柴島高等学校内
(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)
E-Mail furitsujinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)
U R L <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

